

交通のご案内

Access



車でお越しの方

- 北陸自動車道大湊PAスマートIC (AM6:00~PM10:00) より 国道8号線直江津方面へ(約7分)
- JR直江津駅より国道8号線長岡方面へ(約25分)
- JR高田駅より国道18号線 →国道8号線長岡方面へ(約45分)

電車でお越しの方

- 東京より上越新幹線→越後湯沢駅乗換→ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)
- 東京より北陸新幹線→上越妙高駅乗換→えちごトキメキ鉄道妙高はなうまライン→直江津駅乗換→信越本線・ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)
- 新潟より信越本線(特急)→直江津駅乗換→信越本線・ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)
- 長岡より信越本線(普通)→犀潟駅下車(徒歩約7分)
- 直江津より信越本線・ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)

お問い合わせ先

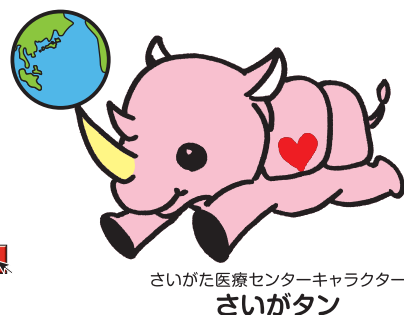
独立行政法人国立病院機構
さいがた医療センター

〒949-3193 新潟県上越市大湊区犀潟468-1

<https://saigata.hosp.go.jp/>

TEL. 025-534-3131 FAX. 025-534-4824

さいがた医療センター 検索



看護師募集案内

SAIGATA MEDICAL CENTER

<https://saigata.hosp.go.jp/>

ここからだの
専門医療を
目指しています。



独立行政法人国立病院機構

さいがた医療センター

メディカルシティ さいがた

病院の理念

Philosophy of hospital



「良い医療を安全に、心をこめて」

- 患者さんの目線に立ち、そして患者さんに満足して頂ける「患者主体の医療」の実現に努めます。
- 精神疾患、神経疾患、重症心身障がいそして神経難病などの政策医療実践の拠点病院として質の高い医療を提供します。
- 地域医療への貢献に努めます。
- 臨床教育及び看護教育に重点を置き、「全人的医療」の実践が可能な人材育成を行います。
- 臨床研究を推進し、より高度な医療の発展と実践に努めます。
- 合理的で効率的な運営により、健全な病院経営を目指します。

看護部の理念

人間の尊厳と人権を尊重し、誰から信頼される質の高い看護を提供します。



先輩からのメッセージ

一人一人と向き合う看護

精神科病棟
田井 沙莉亜 さん
新潟県立看護大学



私は、学生の頃、精神科慢性期病棟で実習してから就職先はこの病院に決めていました。決め手は、ある看護師の精神疾患患者への対応に心を打たれ、自分もそんな看護をしたいと思ったからです。就職してからは、プリセプターや先輩が技術面や精神面について手厚くサポートしてくれます。私が勤務する精神科慢性期病棟では、患者様一人ひとりとじっくり向き合って看護することができます。ぜひ皆さんも私たちと一緒に働いてみませんか。

看護の楽しさ

重症心身障がい児(者)病棟
宮村 和 さん
上越看護専門学校



私は、重症心身障がい児(者)病棟に勤務しています。病棟には、脳性麻痺、精神発達遅滞などにより生活全般に援助を必要とし、コミュニケーションが困難な患者さんが入院しています。患者さんは言葉で訴えることはできませんが、行動や表情で体調や何が必要かを訴えることができます。先輩の指導もあり患者さんの訴える内容がわかりはじめ、私は看護することの楽しさを感じています。ぜひ、一緒に働きましょう。

看護師を目指すあなたを応援します

奨学金制度

卒業後、さいがた医療センターへの就職を希望する看護学生に対して、奨学金を貸与することにより、修学を支援いたします。

奨学金の額	700,000円
返済の免除	看護学校卒業後に、奨学金の貸与期間と同じ期間をさいがた医療センターで看護師として勤務した場合に、返済は免除となります。

プライベートライフを応援します

宿 舎

新築の1LDKです。ウォークインクローゼット付きで収納スペースもたっぷり。バルコニーもついてます。



子育てしながら、働きたいあなたに

院内保育園

さいがた医療センターに勤務する職員の子供が対象です。
(0歳から小学2年生:学童)
保育日:月曜日～日曜日
保育時間:
8:10～18:00
休園日:
第2・第4土・日曜日
行事等で変更有り



寄り添う看護

脳神経内科病棟
福田 結美 さん
新潟病院附属看護学校



脳神経内科病棟では、進行性の慢性的な経過をたどる患者さんが多く、専門性の高い看護を必要とします。病棟は治療だけでなく患者さんの生活の場としても機能しているため、患者さんに寄り添う時間を大切にでき、じっくりと関わるができます。入職時は看護の現場に戸惑いや不安を感じることがありましたが、先輩方の丁寧な指導やフォローにより少しずつできることが増えてきました。ぜひ、皆さんと一緒に寄り添う看護をしませんか？

多職種と連携した医療の提供

医療観察法病棟
塚崎 康平 さん
信州上田医療センター附属看護学校



医療観察法病棟は、「対象者の希望から出発、対象者と共に創る、リハビリを促進する治療・支援」という理念のもと、多職種で連携して医療を提供しています。対象者一人ひとりと時間をかけて関わり、対象者の気持ちに寄り添った看護を提供する事ができます。入職時は不安や緊張でいっぱいでしたが、プリセプターや先輩方の手厚い指導やサポートもあり、楽しく学ぶことができています。ぜひ、皆さん一緒に働きましょう。

教育体制およびプログラム

当院では理論と実践を統合した質の高い看護を提供できる看護師を育成するために教育専任看護師長、教育委員会メンバーによる教育支援を行っています。

「看護職員能力開発プログラムVer2」に沿って全看護職員を対象にした院内教育プログラムを作成しています。職場での機会教育と連動させ学習した内容が実践に活かせるようにしています。

また、プリセプターがマンツーマンで関わり、支援し、先輩看護職員全員がひとりひとりとをとても大切に育成し、サポート体制が充実しています。



看護部教育研修

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
レベルⅠ	看護技術研修 移乗・移動、与薬、 採血、筋肉注射 【精神科】CVPPP研修 【脳神経内科 重症心 身障がい】吸引、入浴 介助、人工呼吸器	コミュニケーション技術 フィジカルアセスメント 夜勤開始 →	多重課題 (シミュレーション) 医療安全	静脈注射(翼状針)		看護倫理
レベルⅡ		メンバーシップ、 ケーススタディ	医療安全	看護倫理		感染管理
レベルⅢ		医療安全	リーダーシップ看護過程	経営参画、看護倫理		看護倫理
レベルⅣ			リーダーシップ	医療安全		
レベルⅤ				経営参画、看護マネジメント		ファシリテーション
プリセプター	プリセプターシップ (GW)	成人学習者の特性と 理解	レベルⅠ 研修アドバイザー	成人学習者への指導		
専門コース 精神科		CVPPP研修 (フォローアップ)	CVPPPトレーナー 養成研修	CVPPP研修 (フォローアップ)		CVPPP研修 (フォローアップ)
専門コース 重症心臓		重症心身障害児(者) の理解	摂食機能訓練応用 行動分析、重心看護	看護倫理 虐待防止		
専門コース 脳神経内科				神経難病看護 人工呼吸器		
看護研究		看護研究講演	研究計画書作成、個別指導	個別指導		個別指導
療養介助員 業務技術員	医療制度・病院の 機能と組織		医療安全			

看護職員の能力開発(研修)体系図



ACTyナースVer.2より



改正年月 令和2年12月

10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営参画(OJT)	看護過程	看護過程(OJT)	1年の振り返り 多重課題	静脈注射(留置針)	
経営参画		ケーススタディ発表		看護を語る	
医療安全	看護倫理	看護倫理	取り組み発表、看護を語る		
	看護倫理	看護を語る		取り組み発表	
	看護倫理	看護を語る		取り組み発表	
指導・支援の振り返り			レベルⅠ研修アドバイザー 1年の振り返り		プリセプターシップ (講義)
CVPPP研修 (フォローアップ)	CVPPPトレーナー 養成研修				
	重症心身障害児(者) の理解	摂食機能訓練応用 行動分析、重心看護	看護倫理 虐待防止		
神経難病看護 人工呼吸器					
	個別指導	個別指導	個別指導		看護研究発表
	感染防止		看護補助業務の理解		

患者の心に寄り添う看護を一緒にしませんか！

精神科病棟

統合失調症や気分(感情)障害等の急性期から慢性期の入院受け入れ、治療抵抗性統合失調症に対しクロザピン治療を行っています。依存症治療では、多職種でプログラムを実施しています。日常生活援助や指導、生活技能訓練を行い、病状悪化時の対処方法は患者さんとセルフモニタリングを作成しています。入院時から退院を見据えた関わり、地域の行政や他職種と連携を図り、患者参加型の退院支援プログラムを行っています。



脳神経内科病棟

パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症等の神経難病の患者さんが入院しています。看護師はQOL向上を目指す患者さんの日常生活援助を行っています。また、在宅療養に向けて薬剤指導や栄養指導、介護方法の指導等の退院支援を、地域や病院内の他職種と連携し積極的に取り組んでいます。家族の介護支援の為、短期入院を受け入れています。



compassionate medical care

重症心身障がい児(者)病棟

2つの重症心身障がい児(者)病棟があり、1つは強度行動障害の患者さんがいる「動く重症心身障がい児(者)病棟」と、もう1つは医療・看護ケア度の高い病棟です。

医師、看護師だけではなく療養介助員や児童指導員、保育士、リハビリテーションスタッフと共に多職種で関わっています。患者さんに安全な生活環境を提供すると共に、日々の生活の中で季節の行事などを行い、QOLの向上に取り組んでいます。

家族支援の短期入院の受け入れも行っています。



療育指導室



スムーズレーン



たくさんの陽が降り注ぐ明るいテイルーム

医療観察法病棟

アメニティとセキュリティに配慮した病棟構造とマンパワーの充実した看護スタッフ配置により、ハードとソフトの両面から十分な医療の提供を実施しています。入院から退院までは各治療ステージに合わせた医療の提供を行い、対象者の社会復帰を目指します。多職種によるチーム医療を実践し、疾病教育やSST、心理導入、内省プログラム、就労支援準備プログラム等の多様なプログラムを用いて、対象者の特徴やニーズに合わせたきめ細かい治療を提供しています。



外 来

外来から入院への看護、退院から社会復帰までの生活支援、在宅患者の訪問看護など、病棟・地域・施設等の連携を密にした継続看護を行っています。

精神科デイケアでは、社会適応能力の回復および向上、対人関係の改善を図り、社会復帰自立への支援を行っています。



訪問看護ステーション

利用者に地域社会で安心して生活していただくために入院中から関わらせていただき、医師、ケースワーカー、リハビリスタッフと連携しながら、病状や服薬に関する支援、家族への支援を行っています。訪問は看護師のほか必要に応じてケースワーカーも同行し、書類の作成や社会資源の利用等の相談についても支援しています。



感染管理・医療安全管理室

「良い医療を安全に心をこめて」の理念のもと、感染管理では、医師、感染管理認定看護師、薬剤師、臨床検査技師が院内感染予防対策チーム(ICT)を組み、各職種の専門性を発揮し、職員に感染対策の重要性や標準予防策の遵守について啓蒙活動しています。医療安全管理では、各部門の医療安全推進担当者と連携し、インシデントの分析、対策の実施状況の確認を行い、患者さんが安全に治療を受けることができるよう取り組んでいます。

